

クローズアップ人



社会貢献活動は
生き方の勉強！

石井 恵子

特定非営利活動法人熊本市支援プロジェクト・マスコ
タニ区熊本理事長・特定非営利活動法人熊本教育
振興会理事。子どもの頃に出会った音楽の先
生に憧れ、教員の道へ。定年退職後、学生時代の
仲間と共に団体を立ち上げ、「学校支援」「保護者
支援」「地域支援」に携わる。

子どもの頃から憧れだった教員として定年まで勤め、その後は「教育支援」の道へ。子どもたち、現役の教員たちへのサポートだけに留まらない石井さんの活動とその想いをたずねました。

——「教員」から「支援者」へ。
その道をたどった理由は？

近年は人々の価値観や生活様式、そして子育て環境が多様化し、教員にも新たな課題が生じています。日々の雑務に追われ、1人で30数名もの子どもたちに対応するにも限界があります。そんな先生方の多忙さを知るがゆえに、少しでもお手伝いできることはないかと、子どもたちと学校を支援する団体を立ち上げました。当初は大学時代の仲間たちと、今では元教員や保育士、教育関係者、PTA活動の経験者など、同じ想いを持つ人たちが集まり、それぞれの得意分野を活かして楽しく活動し、いつの間にか12年目になりました。

——次々と新しい活動に取り組む石井さん。
その原動力は？

先生や子ども達に向けた学校支援の他に、保護者への支援も行っています。保護者の皆さんと子育てについて語る「子育てトークの会」という事業や、各地域の公民館で地域の

リーダー育成などの講座を行っています。それぞれの区や町に、キラリと光るリーダーが多く存在すれば、その人に巻き込まれて地域が、そして熊本市全体が活性化して住み良い街になるでしょう。

——どちらも、私の原動力になっているのは仲間
の皆さんと一緒に活動を通しての「学び」と「変化」です。ものの見方、考え方が変われば、生活の在り方も変わります。そのことが人生の幸せにつながると信じています。

——活動を通じて得たものは？

社会貢献活動は、自己の生き方の勉強であると強く感じています。「明日死ぬと思っ
て生きなさい、永遠に生きると思っ
て学びなさい」というガンジーの教えとおり、人
生は本当に死ぬまで勉強ですね。教員を退
職してからは、それまで知らなかった世
中の勉強をさせていただいています。「今
ならもっと良い授業ができるかも」と元教
員仲間と語っています。今後の課題は、次
の世代へと支援を繋げていくこと。今まで
は、教員時代の繋がりを活かしてダイレク
トな支援ができていましたが、世代が変わ
ることでそれも難しくなると思います。地
域との繋がりを持つ新世代のリーダーさん
がたくさん生まれ、その輪がさらに広がっ
ていく。そんな熊本市になりますように！